

Ja-Net

シャネット



第3号

Ja-NetはJapanese Networkの略です。
「にほんこ」を通して語学と読者の距離を縮め
情報にしたいと考えています。

スリーエーネットワーク
〒101 東京都千代田区千代田 2-3-3 地蔵ビル
TEL 03-5561-5765 FAX 03-5561-5764
E-mail: ja-net@sl-net.co.jp

日本語教育に携わる者からの提言

鹿児島女子大学教授 関 正昭



特別寄稿

私が日本語教育の道に入ったのは1971年のことでした。そのころは、「日本語教育」といっても「国語教育」との区別もつかないほど、一般にはほとんど知られていない特殊な分野でした。

今や、3,000人以上の会員を擁するまでにになった日本語教育学会が発足したのは1962年のことですが、当初は「外国人のための日本語教育学会」と呼ばれていました。日本人に対する国語教育との混同を避けるためには、「外国人のための」との枕詞が必要だったのです。

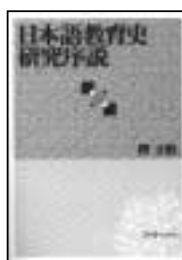
しかし、時代は変わりました。日本語教育、日本語学習者、日本語教員、日本語教材……ここで用いられている「日本語」の意味をいちいち説明する必要はなくなりました。とりわけ、1980年代に入ってから10年余の間は、日本語教育は一種のブームと言えるほどの現象すら呈しました。この時代には、日本語教育の技術的な面——新しい教授法の導入やコンピューター等とリンクさせた新教材の開発等々——において、大きな進歩を遂げました。

ところで、戦後再スタートした（なぜ「再スタート」か、それまでの日本語教育の歴史はどのようなものだったのか、については、拙著『日本語教育史研究序説』をご覧ください）日本語教育は、今日まで大きな忘れ物を

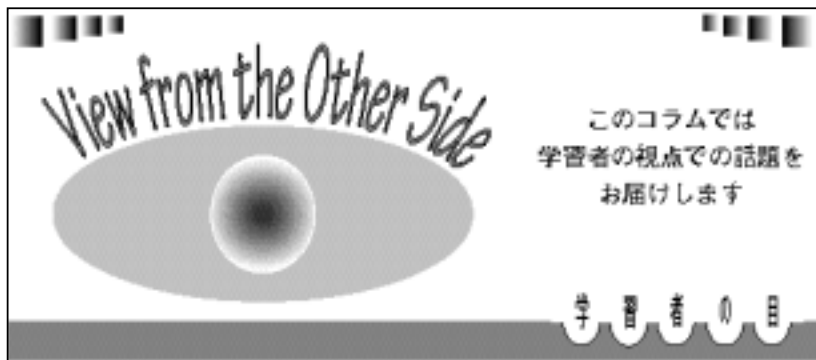
してきました。その大切な忘れ物とは、戦後の日本語教育界が、それまでに行われてきた過去の日本語教育、わけても戦前・戦時中の日本語教育をきちんと総括しなかったということです。

日本語教育という分野は、言語政策的側面においてその時々国家体制・国際情勢・社会情勢と緊密に連動します。したがって、他の教育研究分野と比べて、時代の趨勢に押し流されやすいといういわば体質的な弱さを有していると言えます。それだけに、日本語教育に携わる者は日本語教育の現状を常に問い、ただし、これからの日本語教育の進むべき方向を見据えていかなければなりません。

そのためには、温故知新のたとえのとおり、日本語教育の歴史を知る必要があります。言語政策史としての日本語教育がたどってきた道を振り返ってみる必要があります。先人の残した研究上の業績や教材開発の歴史に学ぶ姿勢が必要だと思うのです。



関正昭著
『日本語教育史研究序説』
小社刊 定価（本体2,400円＋税）



日本語を勉強、管理研修生 ——東京研修センターで学ぶ研修生の横顔——



最近、海外技術者研修協会（The Association for Overseas Technical Scholarship - AOTS）の東京研修センター（TKC=『新日本語の基礎』のテキストにでてくる所です）に行って4人のパキスタンの研修生と会いました。来日して3週間です。4人ともカラチのPak Suzuki Motor Companyというパキスタンと日本の共同事業の自動車会社で働いていて、日本に管理研修を勉強に来ました。3カ月半の滞在で、研修先は鈴木自動車です。まず始めの6週間にAOTSの一般研修のコースに参加します。この6週間、平日の午前中は日本語の授業、そして午後は日本の生活や産業などの講義や工場見学という厳しい日程です。

4人は英語とウルドゥー語が話せますが、MehboobさんとMuhammadさんは日本語を勉強するのは初めて、そしてKazmiさんとEjazさんは10年以上前に来日して同じ一般研修のコースに参加したけれども日本語を忘れました。管理研修は日本語で行われるので会話の能力を心配しています。今、皆さんは『新日本語の基礎 皂ローマ字版』を勉強中です。前に日本へ来たEjazさんは授業の日本語と違う日本人の会話を経験することがあったので戸惑いました。特に、敬語などの丁寧な言葉使いがわかりにくいようです。他には助詞の使い方が特に難しくて混乱しやすいので練習しなければなりません。

授業以外には東京研修センターのCAIというコンピューターで予習と復習をしています。Mehboobさんは「外国語を学ぶには、教室で一方的に教わるだけではだめ、CAIは教わったことをすぐ自分で確認できるので役立つ」と言っていました。コースの時間が少ないから宿題も欠かしません。さらに会話力を伸ばすために様々なプログラムに参加します。まず、週1回日本人のボランティアとの自由会話（下記参照）があります。地元の住民の方々と日本語で話すのです。この機会が役に立って有り難いそうです。さらに、一般研修のコースではTokyo Walk Rallyというプログラムがあります。研修生は東京の中の色々な特別な場所へ行って現地の人に質問します。こうして彼らは日本語の習得を目指します。けれども、一人は「実は、今、初めて日本語を勉強しているところなのでとても難しいです」と言っていました。これが本音でしょうか？

パキスタンに戻ったら、日本語ができることは有意義だと聞きました。勤務先のPak Suzuki Motor Companyには英語が苦手な日本人が働いているし、日本からのお客さんがよく来るからです。ですから彼らはパキスタンに戻っても、勉強した日本語を学習し続けるつもりです。Mehboobさんはカラチに帰ったら、カラチのJapanese Language Culture Centreの日本語の授業に参加する意気込みです。Muhammadさんも同じことを考えています。

日本の印象については、異口同音に「大変近代的な国」という返事が返ってきました。Kazmiさんは「日本の近代化の進めかたが大変興味深い」といいます。そして、日本人の仕事や生活の考え方も知りたい」と言っていました。Mehboobさんは「外国に行くといつも新しいことを吸収できるので、できればもう一回日本へ来たい」と熱望しています。



お話を伺ったみなさん。左から Mehboob さん
Muhammad さん Kazmi さん Ejaz さん

（N・ジェームス / Ja-Net 編集員）

東京研修センターでは、研修生のみさんの日本語自由会話のお手伝いをしていたくボランティアを募集しています。興味のある方は右記宛に往復ハガキでお問い合わせください。

〒120 東京都足立区千住東1-30-1
（財）海外技術者研修協会
東京研修センター日本語班
ボランティア係

全国語学教育学会（JALT）山口支部は、ボランティアの日本語教師の方々の協力と財団法人山口県国際交流協会の平成9年度グローバル山口民間国際交流促進事業費助成を得て、7月26日と27日の両日『山口県を世界に開くシンポジウム'97』を山口県セミナーパークで開催した。一年がかりで準備したにもかかわらず、当日は運悪く台風9号の直撃を受けた。それにもかかわらず、県外からの参加者も加えて、のべ110名が熱心にシンポジウムとワークショップに参加した。

26日の午前には、メイン・ゲストとしてお招きした米国北東部中等日本語教育教師会の津田和男氏（ニューヨーク国連高校教諭）と島野雅俊氏（ニューハンプシャー・セントポールズ校教諭）より

「米国中等教育における日本語教育の問題と課題」について報告を受けた。午後は、シンポジウム「山口県を世界に開くために」がメイン・ゲストの他にパネラーとして門倉正美氏（横浜国立大学留学生センター教授）鈴木康明氏（東京外国語大学留学生日本語教育センター助教授）赤木弥生氏（山口東京理科大学・山口大学非常勤講師）石田孝子氏（山口大学非常勤講師・ラング日本語学院講師）二宮喜代子氏（山口大学非常勤講師・日本語クラブ宇部代表）が加わって実施された。日本語ボランティアの方々や留学生からの積極的な発言もあり、真剣に討論が展開された。



シンポジウム「山口県を世界に開くために」
メイン・ゲストとパネラー

27日の午前には、ワークショップ「日本語教材作成プロジェクト『季節』」を津田氏と島野氏に実施してもらい、高校生用の教科書『季節』4分冊構想が具体的に示された。また、『季節』プロジェクトの活動の一環としてビデオに収録されたセントポールズ校の学生による寸劇が紹介され、そのレベルの高さに会場から感嘆の声があがった。また鈴木氏によるワークショップ『異文化』と共に生きる心を育てるために～発達援助としてのカウンセリング活動～もサイコ・エデュケーション（心理教育）の手法で展開され、好評であった。『季節』プロジェクトにも、カウンセリングの要素が取り込まれようとしている。また、山口県でボランティアの日本語教師の方々の手による日本語教科書『おいでませ山口』と『続おいでませ山口』が『季節』プロジェクトと連動して開発されている。教材作成作業を通じて、山口県を世界に開く具体的な道筋が開かれようとしている実感を得ることができたという印象の集いであった。

山口県山口市

国内編

あちこち
日本語
ご紹介

海外編

ニュージーランド クライストチャーチ市

ニュージーランドにおける日本語教育はオーストラリアに負けず劣らず盛んであることは既に読者の大方はご存じだろうと思います。日本語は外国語として一番多く学ばれており、現在では小学校においても広く学習されている科目であります。

今日は実用的な知識、技能、技術の鍛錬を目的にした全国に25あるポリテクニクの中から日本語教育の質が一番高いという評判をもつクライストチャーチポリテクニクのキャロリン・ショー先生の授業をご紹介します。

日本語科の教員は専任講師が7人、その内3人が日本人、学生はフルタイム、パートタイム併せて約250人。ポリテクニクは大学と同じように3年の学習年限

「山口県を世界に開くシンポジウム'97」を開催

山口大学人文学部教授 林 伸一

ニュージーランド「日本語クラス」事情

Y.E.S.Kiwi International NZ 代表 中村 攻 おさむ



ショー先生（左から4番目）と学生達。筆者は左から3番目、5番目は札幌大学の赤坂和雄教授

の後にdegree（学位）を出すことができます。

ショー先生は日本語科の主任で高等学校の3年生から日本語を学び始め、カンタベリー大学で日本語を専攻、さらに広島大学に留学し、ポリテクニクで教えるようになって7年目になるというその日本語はそれこそ見事と言うほか表現の仕様がなほ素晴らしいものです。そのテンポの早い、てきぱきとしたショー先生の指導の下にディグリーコース1年生の通訳の授業が進んで行く。このクラスの学生数は7人、その内2人は韓国人、1人は中国人、残りの4人がニュージーランド人です。

私がオタゴ大学で教えていたときもそうでしたが、こちらの高等教育機関で日本語を学んでいる学生のおよそ半数はアジアを中心とするニュージーランド人以外の学生であります。ニュージーランド

はマルチカルチャラルソサヤティー (Multi Cultural Society) であることも知っておいてください。

日本語学習暦がまだ2年から4年という学生たちではありますが、かなり高度な日本語と英語の同時通訳をして行く様を目の当たりにして、思わずこの教師ありてこの学生ありと納得することができました。



お知らせ

Y.E.S.Kiwi International はこの度、クライストチャーチポリテクニクとの共同企画で来年度より Japanese Teachers Training Programme を実施することになりました。このプログラムは英語圏で通用する日本語教師を養成するための講座です。プログラム並びにニュージーランドの就職情報等についての詳しい資料を希望される方は下記 P.O. BOX 宛に資料請求代として日本の郵便切手 800 円をご郵送下さい。日本の住所は日本語でお書き下さい。郵便番号も忘れずに。

Y.E.S.Kiwi International NZ
Osamu Nakamura
P.O.Box 13-386 Christchurch, NZ
Ph: 0064-3-332-1833
Fax: 0064-3-332-2689

アイデアの宝船

今日のテーマ

クラス活動集

その3

こんなにあった！
教材の使い方あれこれ

「しんじはんごのきそ」
シリーズの教材の
いろいろな使い方を
紹介します。

監修 石塚京子

文型を確実に、しかも楽しく学習するための工夫はどこでも行われていると思います。そのため、学習者の学習意欲を高める工夫とアイデアが盛り込まれた『クラス活動集101』、『続・クラス活動集131』は、教える側にとって力強い味方です。この『101』、『131』をそのまま使っても勿論活発なクラス活動ができます。しかし、談話例に状況を加えたり、ワ-クシ-トのバリエ-ションを増やしたり、新たなゲ-ムを加えたりすることによって、また少し違ったクラス活動が展開できます。今回は、その例を紹介します。

1. 談話例に状況を加えた応用例

『クラス活動集101』(8ページ)

2-2. これはだれの？

状況を加える

文型：～は～です
活動：だれの物が聞く
追加語彙：……
用意する物：紙

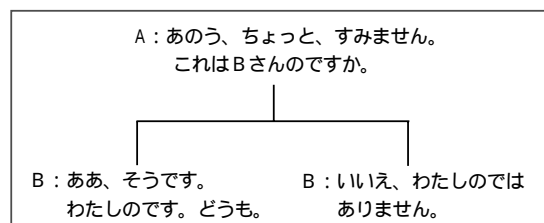
状況：教師が忘れ物をし、学生に借りる。使い終わった後で、借りた物を間違えて返す。

手順

- 1) 授業の始めに出席をとろうとした時、ボ-ルペン(筆記用具)を忘れて来たことに気付き、学生に借りる。
- 2) 赤ボ-ルペン、シャ-ペン、消しゴム・・・なども忘れたことに気付き、学生に借りる。
- 3) 借りた物を使う(ふりをする)
*全ての学生から何かを借りて使うことが大切。
- 4) 借りた物を返す。
- 5) 談話例の練習

手 順

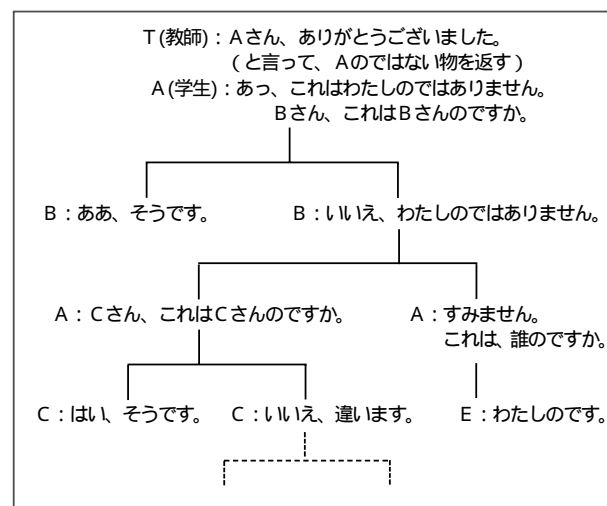
- 1) 学生を持ち物を集める。できれば、だれのものが特定できない同一種類のものがよい。(例：かぎ、時計、ボールペン)
 - 2) 教師はその1つを取り、談話例を練習する。
- 談話例：



- 3) 学生に1つずつ持ち物を配る。
自分の物は受け取らないようにする。
- 4) 学生はそれぞれ持ち主が見つかるまで質問し、持ち主に返す。

- * 1、教師は学生に紙を配り、学生はその紙に絵を1つ書く。
それを学生の持ち物として集める方法もできる。
- 2、学生数が多い場合は5～6名のグループを作って同様に進行。

上記談話例の活動により、これは～さんのですか/わたしのです/わたしのではありませんの文型がスムーズに言えるようになったら、右のような状況を設定し、的確な使い方を学習する。



- 6) 教師は学生に、1つずつ返す。
*正しい持ち主に返さないようにする
- 7) 学生は、正しい持ち主が見つかるまで質問し、見つかったら教師に報告する。

これはわたしのではありません。～さんのです。

2. 新たなゲームを加える例

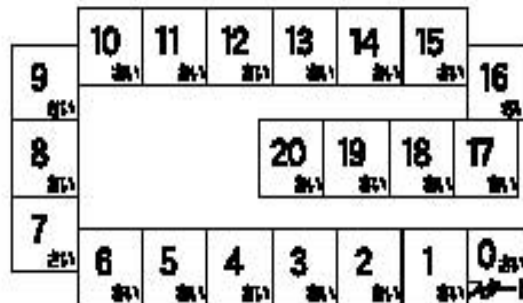
『続・クラス活動集 131』(112ページ)

36-1. わたしのあゆみ

文型：V(可能動詞)ようになりました
活動：何歳のとき、何ができるようになったかを言う
追加語彙：適宜
用意する物：紙

ゲームを加える

左記の活動により、～歳の時、～ようになりましたの練習が終わったら、下のような「すごろく」を用意し、ゲームの中で文型をより確実に覚えるようにする。



手順

- 1) 教師は全員に紙を配る。
- 2) 教師は「1歳・6歳・10歳・15歳・20歳」のとき、何ができるようになったかを書くように指示する。
- 3) 教師は例を示す。
参考例：
1歳のとき、歩けるようになりました。
6歳のとき、自転車に乗れるようになりました。
10歳のとき、簡単な料理が作れるようになりました。
15歳のとき、英語が少し話せるようになりました。
20歳のとき、一人で外国旅行ができるようになりました。
- 4) 順番に発表する。

* 更に年齢の高い「すごろく」を作れば、～歳のとき、～しました。～歳になったら、～たいです。などの文型練習にも使える。

3. ワ-クシ-トのバリエ-ションを増やす例

『クラス活動集 101』(83ページ)

13-4. 休みに何をしますか

ワ-クシ-ト

いつも：1 よく：2 ときどき：3		
	わたし	さ
① 本を読みます。		
② 友達に会います。		
③ お酒を飲みます。		

絵力-ドを使用

文字のかわりにPart (P.183)の絵カードや絵教材を活用。絵を見ての発話になるので、文字を見た発話とは違った文の生成能力が養える。

いつも：1 よく：2 ときどき：3		
	わたし	さ
① 		
② 		

* 談話例の練習時に、質問の作り方を十分練習する必要がある。
* 本、新聞などの語彙は、自由に変えて練習することができる。

今回ご紹介した教材

『クラス活動集 101』-新日本語の基礎 準拠- B5判 196頁 定価(本体1,748円+税)

『続・クラス活動集 131』-新日本語の基礎 準拠- B5判 240頁 定価(本体2,039円+税)

このコーナーで取り上げて欲しいテーマや、ご自身でしている教材の活用法などございましたら、是非、企画広報課までお知らせください。



挑戦！ 初級で作文

第3回

日本海外技術者研修協会 門脇 薫
(大阪外国語大学大学院)
日本PYMCA学院専門学校 西馬 薫
(大阪外国語大学大学院)

みなさんの教室でこの作文教材を使ってみませんか。
モニター募集中です。また、この教材に関するご意見・ご感想をお聞かせください。

1. 初級における談話展開を考慮したワークブック ー練習問題ー

第1回(1997.4月創刊号)では「自己紹介」、第2回(7月発行第2号)では「家族」をテーマに作成した「フローチャート」と「モデル文」を挙げました。今回は、「週末」の例について、「フローチャート」「モデル文」「練習問題」をご紹介します。

「談話展開を考慮した作文ワークブック」の構成は、各テーマごとに、(1)フローチャート (2)モデル文 (3)練習A 練習B (4)書きましようの順になっています。(創刊号参照)



2. 作文教材例.....週末

【フローチャート】

私は～をしました。
(週末全体について)



～をしました。
(具体的な内容1) = 波線部分
↓
(それについてのコメント/感想1) = 下線部分
(具体的な内容2) = 波線部分
↓
(それについてのコメント/感想2) = 下線部分
⋮



(最後に週末全体に関するコメント/感想で終わ)

全体

個別

全体

【モデル文】

わたし ど よう び にち よう び
私は土 曜 日と日 曜 日、ホームステイをしま



ど よう び ご こ にほんじん あ
土 曜 日の午後、日本人のホストファミリーに会いま
した。

なまえ わたし いっしょ くるま
名前はかとうさんです。私たちは一緒に、車でかとう
さんのいえ へ行きました。1じかんぐらいかかりました。

かとうさんのかぞく、にん 3人です。かとうさんと、おく
さんと、こどもさんです。ばん いっしょ にほん りょうり
食べました。わたし りょうり すこ をつく
私はタイ料理を少し作りました。とてもお
いしかったです。

にち よう び わたし でんしゃ きょう と い
日 曜 日、私たちは電車で京 都へ行きました。
きょう と あつ
京 都は、とても暑かったです。金閣寺を見に行きま



すこ たの
少しつかれましたが、とても楽しかったです。あ
まりにほんご はな
まり日本語を話しませんでしたから、さんねんです。

【練習A】(一部)

例) 金閣寺へ行きました。金閣寺でたくさん写真をと

金閣寺へ行きました。そこでたくさん写真を取りました。

1) 大阪のタイ料理レストランへ行きました。
タイ料理レストランでたくさんのタイ人に会いまし



2) 私は、駅で男の人に道を聞きました。
男の人は、先生のご主人でした。

「練習A」は、一文レベルの文型練習では扱われにくい談話レベルの文法項目を取り上げています。

初級レベルでは「現場指示のこそあど」が中心になるため、「金閣寺へ行きました。あそこで写真を撮りました。」のような学習者の作文例が見られます。そのため今回は、「文脈指示のこそあど」を練習問題に取り上げました。

【練習B】(一部)

あなたは土曜日に何をしましたか。メモを書いてください。

土曜日

9:00



12:00

15:00

18:00

21:00

0:00

「練習B」は、「書きましょう」で実際に学習者が作文を書くための準備になっています。

例えば「週末」の例では、学習者が週末にしたことを書いていくような作文メモになっています。そのメモを参考に、ペアワークによってお互いの週末について質問しあうような教室活動も行えるでしょう。実際に「書く」作業に入る前の動機づけを狙っています。

【書きましょう】(例省略)



ここで実際に学習者はテーマについての作文を書きますが、書いたあとはこのページだけ取り外して提出してもらいます。また、学習者が「全体→個別→全体」の流れを意識して書けるように、フローチャートやモデル文のように3つの枠が、あらかじめ書かれています。その他に、書くときの手助けになるように、「自己紹介」では自分の写真、「家族」では家族の写真、「週末」では週末に出かけたところの入場切符などを貼る(なければ絵を書く)欄も設けています。書いたあと、教室の壁に掲示してお互い読み合うのもいいのではないのでしょうか。

このワークブックを使用される先生方の色々なアイデアで、更に使い方の幅を広げて頂きたいと思っています。





セミナー

SEMINARS

実践日本語教授法講座 97年12月コース

新日本語の基礎シリーズは学習者にとってわかりやすく、教師にとって教えやすい初級日本語に最適のテキストです。シリーズになっている教材をいかに効果的に使うかが教えるときの重要なポイントになります。この講座では模擬授業を中心にすえ、新日本語の基礎シリーズの教え方の実際を学ぶことができます。

【新日本語の基礎Ⅰクラス】

毎週月曜日 14時～16時 全6回
(12/1・12/8・12/15・1/5・1/12・1/19)

【新日本語の基礎Ⅱクラス】

毎週火曜日 14時～16時 全6回
(12/2・12/9・12/16・1/6・1/13・1/20)

受講料 27,000円 入学金 10,000円
会場 小社教室(水道橋駅徒歩5分)
定員 20名(5名以上開講)
申込締切 11月25日

詳細については資料をご請求ください。
次回は 98年4月開講予定です。
出張講座も承ります。



有馬俊子先生

ほん

BOOKS



『しんにほんごのきそ』シリーズ最新刊

新日本語の基礎Ⅰ
文法解説書 ベトナム語版
定価(1,650円+税)

新日本語の基礎
文法解説書 ベトナム語版
定価(1,748円+税) 12月刊行予定

語彙を増やすのにこの1冊

中国人のための 漢字の読み方ハンドブック

大越美恵子・高橋美和子 著
定価(1,800円+税) 12月刊行予定

ピンイン(中国語の発音記号)で日本語の漢字の読みと意味がわかる中国人のためのハンドブック。常用漢字など2,674字に加え、熟語17,761語を収録しました。簡体字、繁体字を併記。学生はもとより幅広く社会人にも役立ちます。

異文化夫婦の歩んできた四半世紀

アジアン・パートナー

フセイン夫妻・ギスタ夫妻 著
定価(1,500円+税)

バングラデシュ人のフセインさんと結婚したエイコさん。インド人のギスタさんと結婚したミドリさん。お互いの文化、言葉、宗教の壁を越えて異文化夫婦として生きてきた二組の夫婦が、夫、妻それぞれの視点から波瀾万丈の四半世紀を綴っています。

『しんにほんごのきそ』シリーズに姉妹版登場

一般社会人向けの語彙や場面設定
基本文型の定着を図る豊富な練習問題
テンポのある自然な会話のカセット
中国語版、韓国語版も順次刊行

98年2月
刊行予定

みんなの日本語 初級

本 冊 予価(2,600円+税)
翻訳・文法解説英語版 予価(未定)
カセット 予価(未定)

みんなの日本語 初級

本 冊 予価(2,600円+税)
翻訳・文法解説英語版 予価(未定)
カセット 予価(未定)

『みんなの日本語』は『新日本語の基礎』の特徴、学習項目と学習方法の分りやすさを活かすとともに、会話の場面や登場人物などに工夫を図りました。とくに登場する外国人のみなさんと日本人の交流の場面にはできるだけ日本事情と日本人の社会生活・日常生活を反映させるようにしました。主として一般社会人を対象にしていますが日本語学校や大学での短期集中教科書としてもお勧めできるものです。

お知らせ

INFORMATION

インターネットでも『Ja-Net』をご覧いただけます。バックナンバーも掲載しています。また、セミナーのご案内や新刊情報、書籍の注文も受け付けています。ご利用ください。

<http://www.at-m.or.jp/~3ac>



皆様からの投稿や各コラムへのご質問、ご意見等をお待ちしております。採用させていただいた方にはオリジナルテレホンカードを差し上げます。

このニュースレターをご希望の方は、お名前、ご住所、所属をファックス等で企画広報課までお知らせください。毎号無料でお届けします。

『Ja-Net』第4号は1月下旬発行予定です。

Ja-Net ネット 3号

1997年10月25日発行

発行人・小川巖

発行所・(株)スリーエーネットワーク

〒101 東京都千代田区猿樂町2-6-3 松栄ビル

企画広報課(Ja-Net 編集室) 電話 03-3292-5752 FAX 03-3292-5754 営業課

電話 03-3292-5751 FAX 03-3292-6195

<http://www.at-m.or.jp/~3ac> E-mail 3ac@mail.at-m.or.jp

印刷・(株)シグマ



1997 by 3A Corporation Printed in Japan (禁無断転載)

スリーエーネットワークという社名は、アジア(Asia)、アフリカ(Africa)、ラテン・アメリカ(Latin America)のいわゆる発展途上国の多くが存在する3つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好の促進を図ろうという主旨をシンボライズしています。

